

令和 4 年度実施 宿泊税施行状況に関する調査結果について

調査概要

宿泊税条例の施行後、制度が円滑に運用されているか検証するための基礎資料として、宿泊事業者、宿泊者、市民を対象としたアンケート及び観光関係団体、有識者を対象としたヒアリングを実施

▶ アンケート調査概要

	宿泊事業者	宿泊者	市民
調査対象	金沢市内に宿泊施設を有する事業者 ・ 256件	金沢市内での宿泊者	18歳以上の市民 ・ 郵送：800票 ・ eモニター：224名
調査方法	郵送配布 － 郵送・Web回収	調査員によるヒアリング (金沢駅、ひがし茶屋街、金沢城公園)	郵送配布 － 郵送・Web回収
調査期間	令和4年10月11日(火) ～ 10月26日(水)	令和4年9月25日(日) 10月2日(日)	令和4年10月3日(月) ～ 10月17日(月)
回収状況 (回収率)	141件 (55.1%)	1,199人	503人 (49.1%)

調査概要

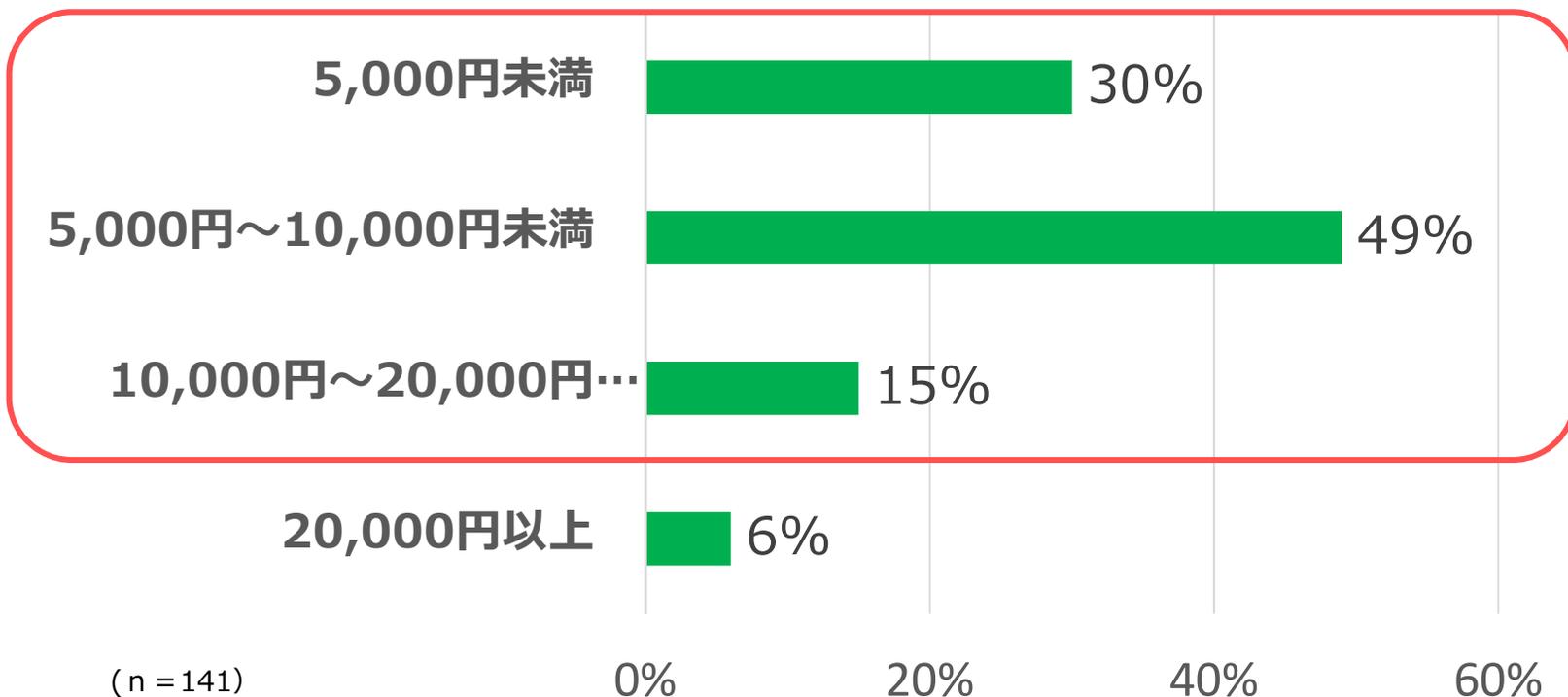
▶ヒアリング調査概要

	観光関係団体ヒアリング	有識者ヒアリング
調査対象	観光関係団体 4団体 [実施日順] ・湯涌温泉観光協会 ・金沢ホテル懇話会（金澤八家） ・金沢市旅館ホテル協同組合 ・一般社団法人金沢市観光協会	学識経験者等 4名 [実施日順] ・北村 哲志（金沢商工会議所（前）副会頭） ・浜崎 英明（金沢経済同友会 代表幹事） ・水野 一郎（金沢工業大学 教授） ・佐無田 光（金沢大学 教授）
実施期間	令和5年1月	令和5年2月

事業者アンケート調査結果

(対象：全事業者256件 回収数：141件)

▶一人当たりの宿泊料金単価



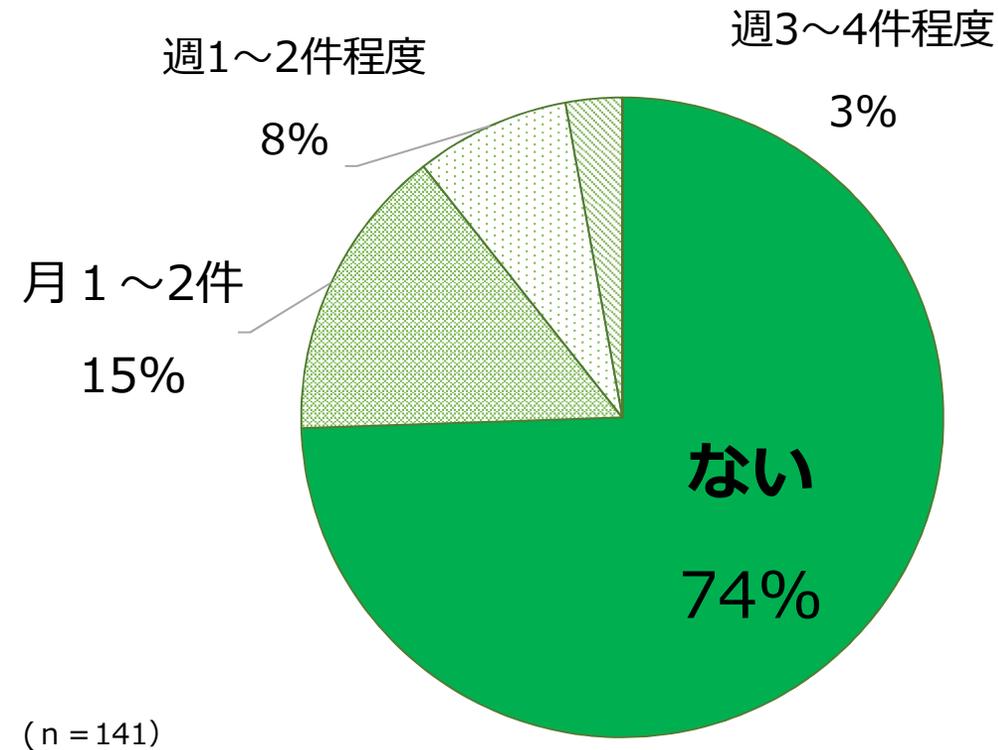
20,000円未満が94%（10,000円未満は79%と約8割）を占めている

【参考：税率別宿泊数・割合】

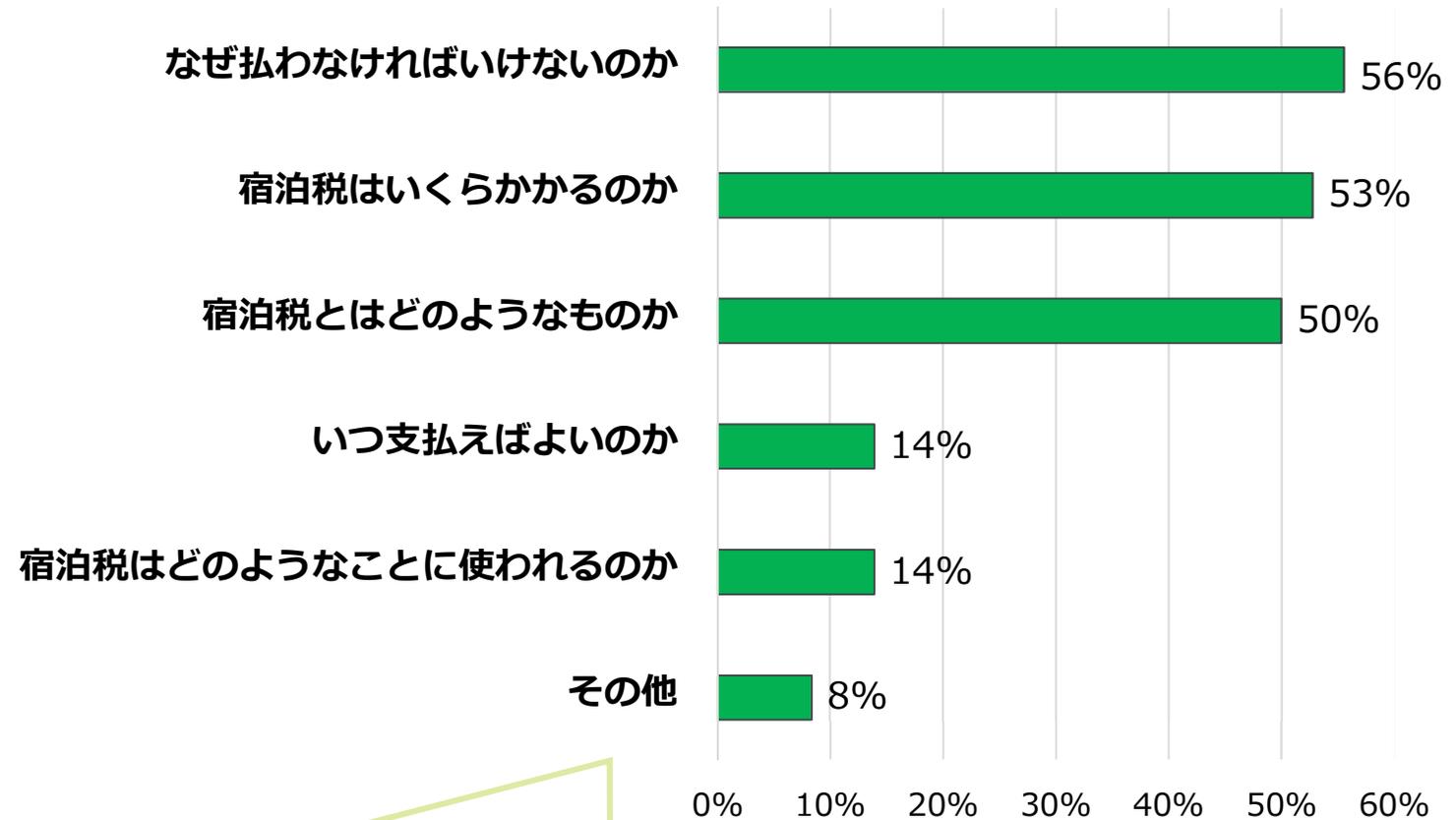
税率	令和4年度	
200円 (20,000円未満)	3,726,526泊	98.6%
500円 (20,000円以上)	53,108泊	1.4%
計	3,779,634泊	

▶ 宿泊税についてのお問い合わせ（直近1か月）

【問い合わせ内容】 有効回答者数 36件



問い合わせは少ない



【その他回答】

- ・ 消費税、宿泊税すべて込みの値段にできないのか
- ・ 安い宿もビジネスも同じ額はおかしくないか
- ・ 公的割引支援をやってまで宿泊者を増やそうとしているのに宿泊税を取るのは本末転倒

▶ 宿泊税の特別徴収事務で最も苦勞していること

有効回答者数 136件



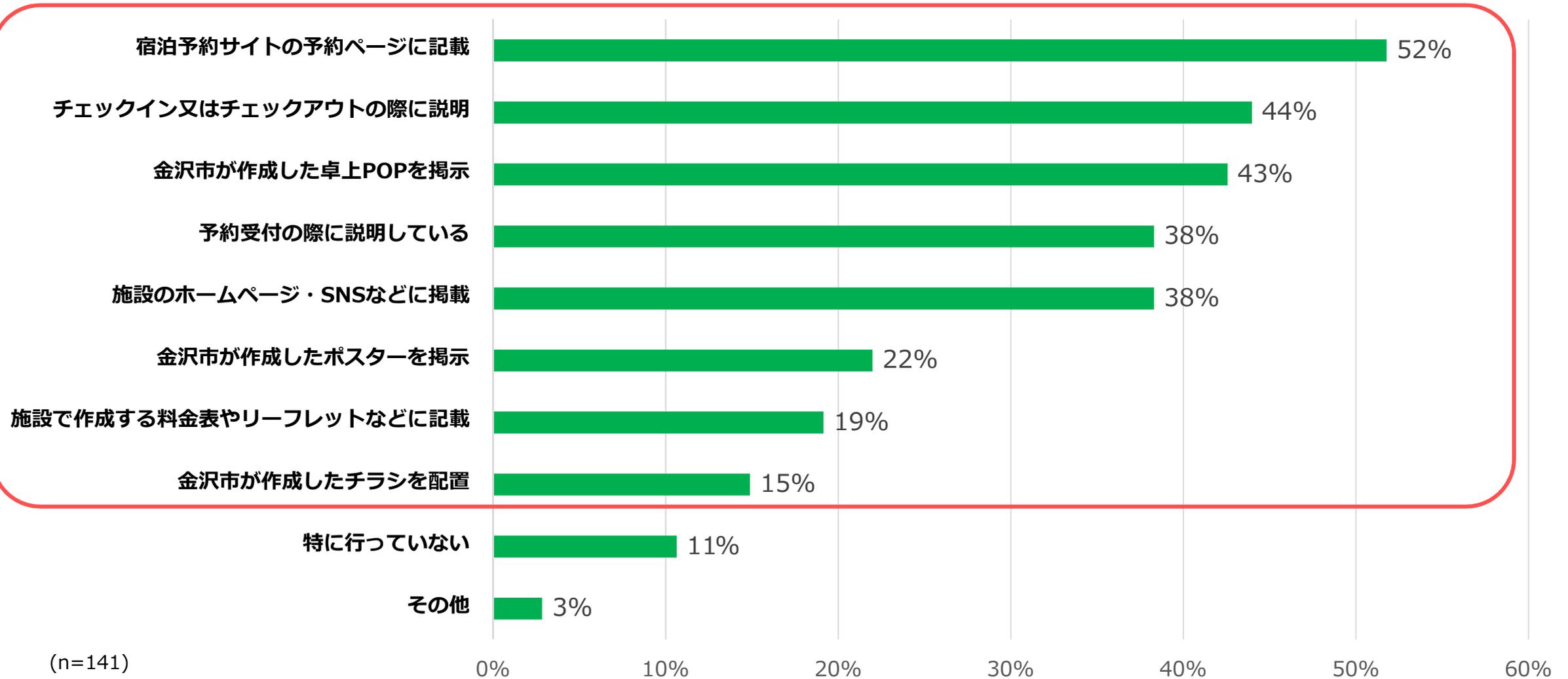
【その他回答】

- ・ 納入場所が少ない、銀行からの納入
- ・ OTA、旅行会社、プランによって徴収方法が異なる
- ・ 領収書の作成

**4割が特にないと回答するも、
6割の宿泊事業者は特別徴収事務
で苦勞していることがある**

▶ 宿泊税についての周知・説明方法（複数回答）

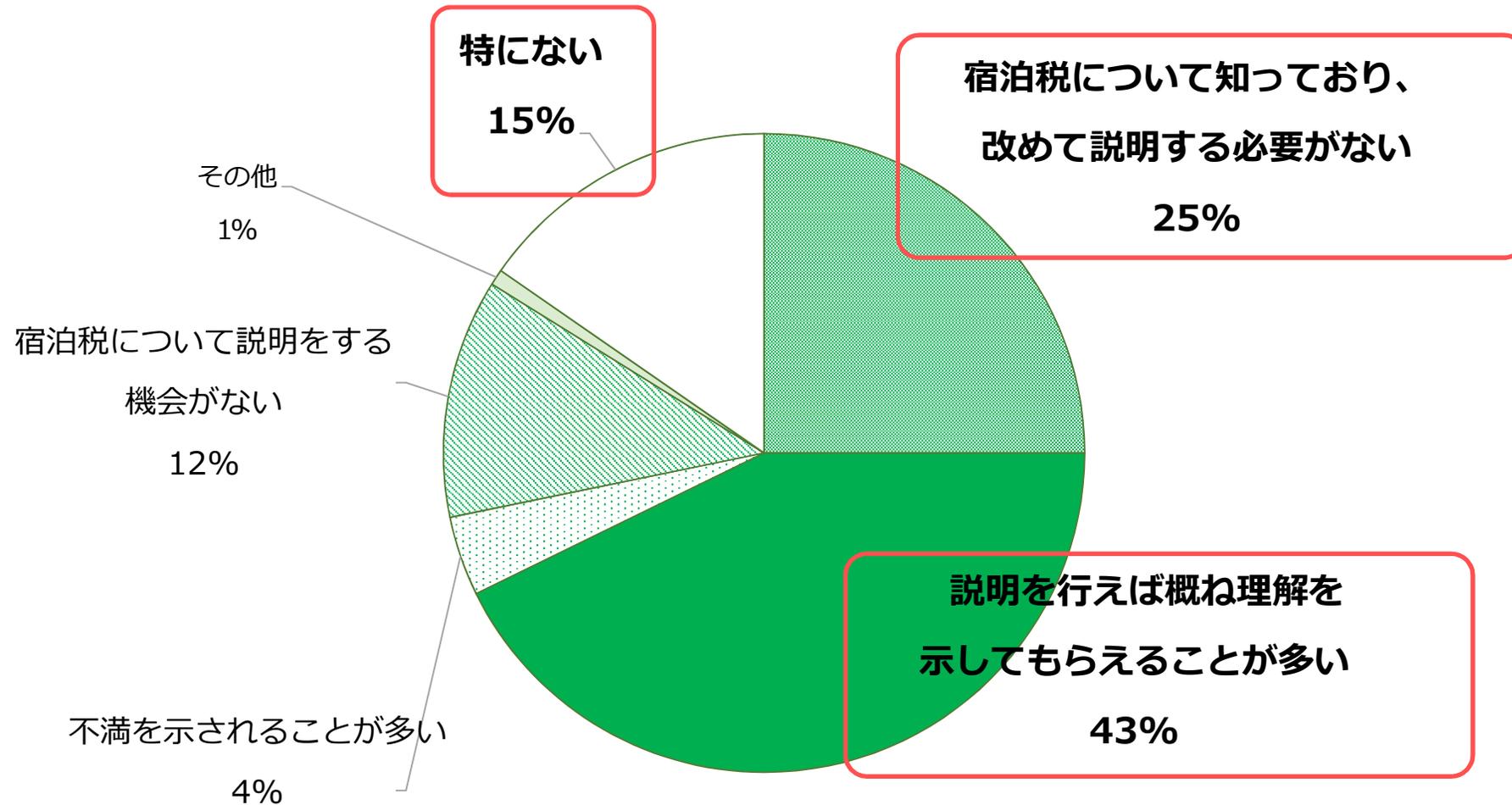
有効回答者数 141件



約9割の事業者が周知・説明を行っている

▶ 周知・説明に対する宿泊者の反応

有効回答者数 124件



(n=124)

概ね理解は得られている

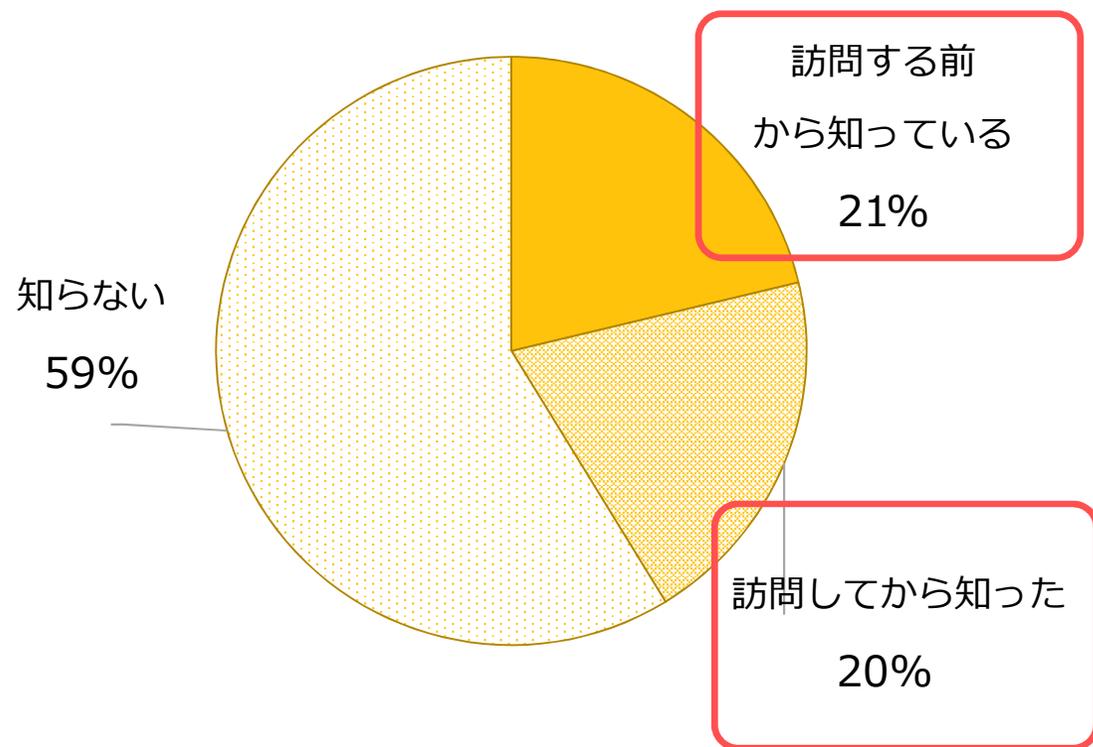
▶ 宿泊税の周知について今後必要な取り組み（自由回答）

回 答	回答数
多言語に対応した広報物を作成して配布してほしい	17
宿泊税の使いみちを公開してほしい	7
現状のままで良い	5
その他 ・ 各予約サイトに宿泊税の案内を掲載してほしい ・ 各予約サイトの領収書への記載を周知してほしい ・ インバウンド客の回復に向けて準備してほしい ・ 旅行代理店への周知 ・ 従業員が宿泊税の目的や使用例などの理解度を高める取り組みをしてほしい ・ 入湯税と宿泊税の違いについて認知されるように明確にしてほしい ・ 広報活動必要なし	1

宿泊者アンケート・市民アンケート調査結果

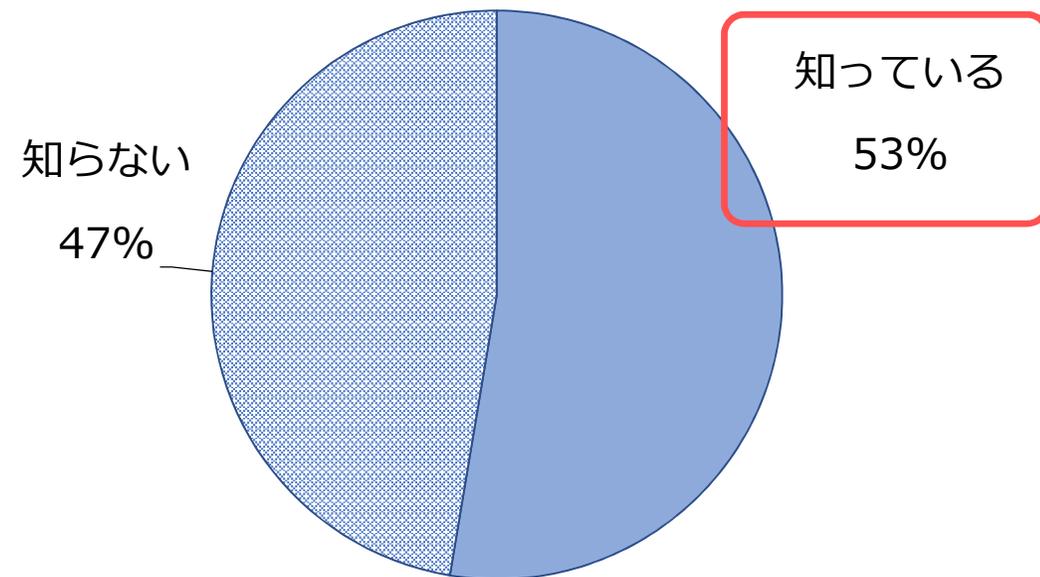
▶ 宿泊税の認知度

【宿泊者】 有効回答者数 1,195件



宿泊者の認知度は 約 4 割

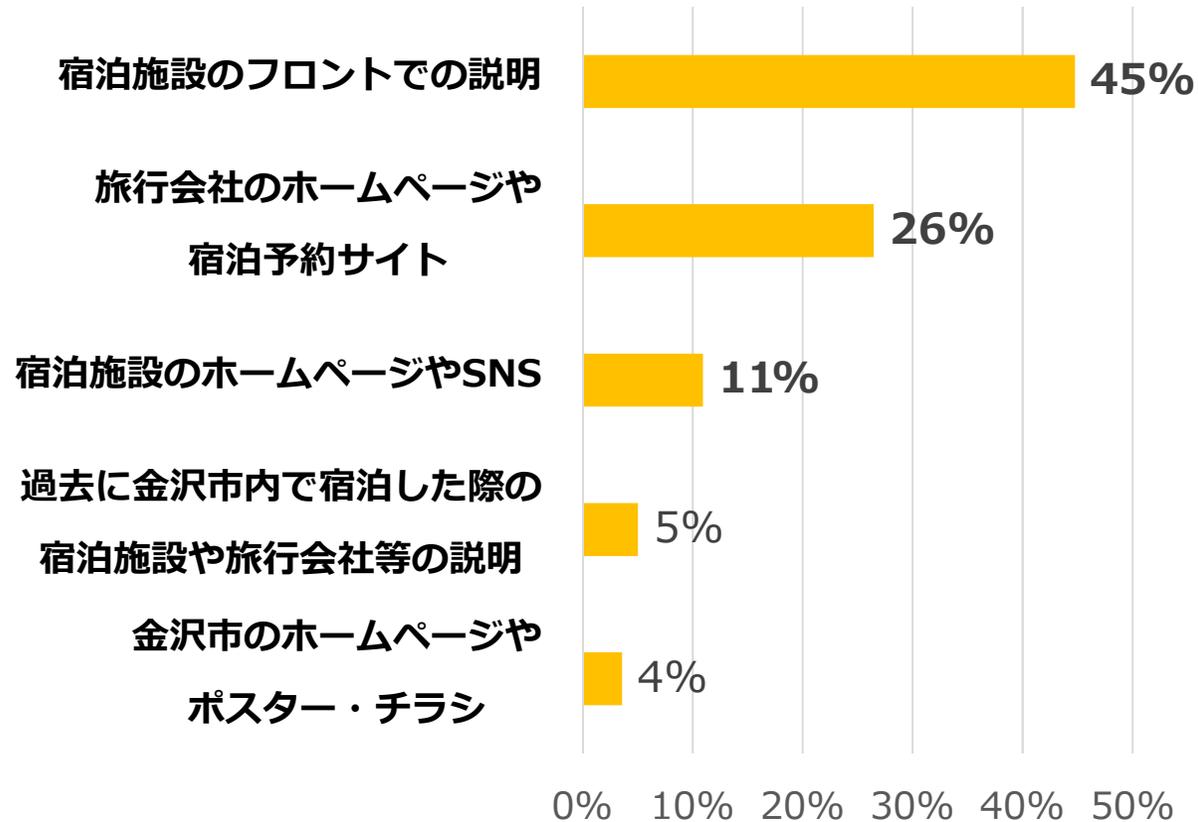
【市民】 有効回答者数 494件



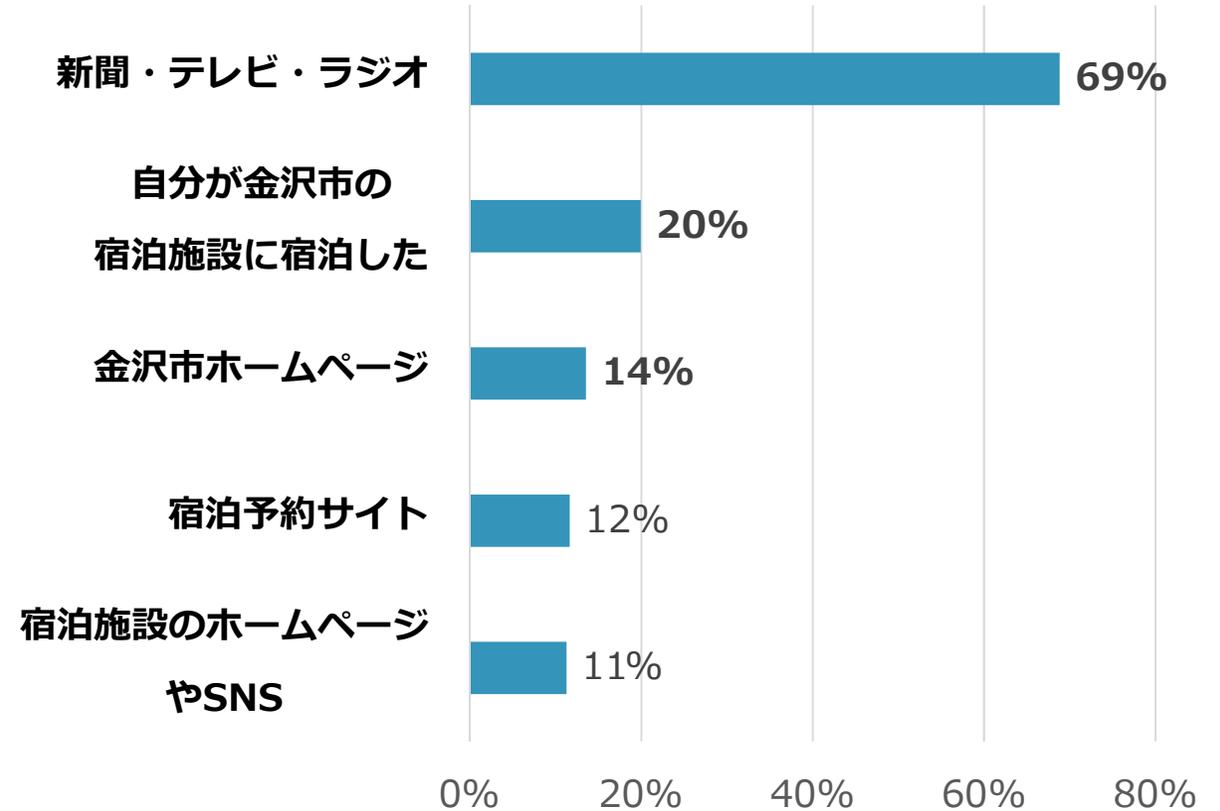
市民の認知度は 約半数

▶ 宿泊税について知ったきっかけ（複数回答・上位5項目）

【宿泊者】 有効回答者数 476件



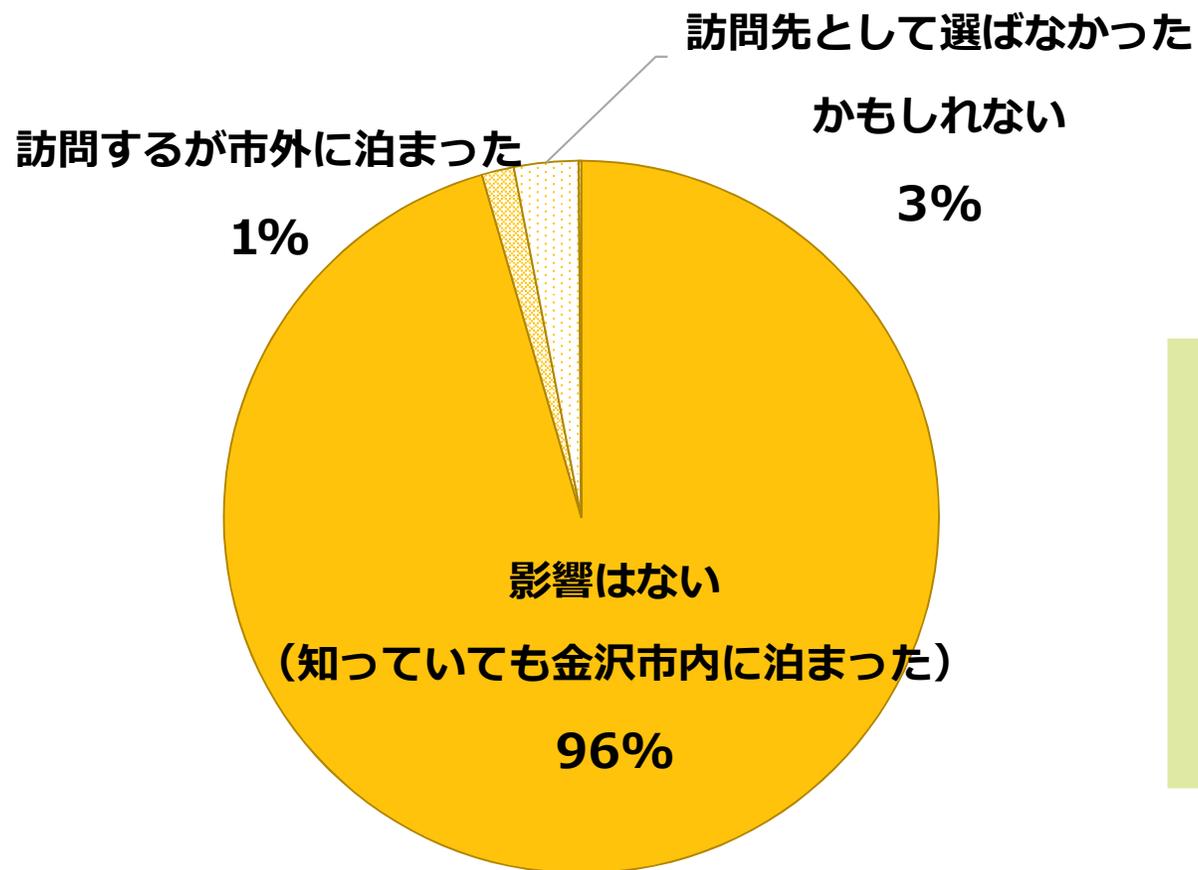
【市民】 有効回答者数 266件



宿泊者アンケート調査結果

▶ 宿泊税を事前に知っていた場合の影響

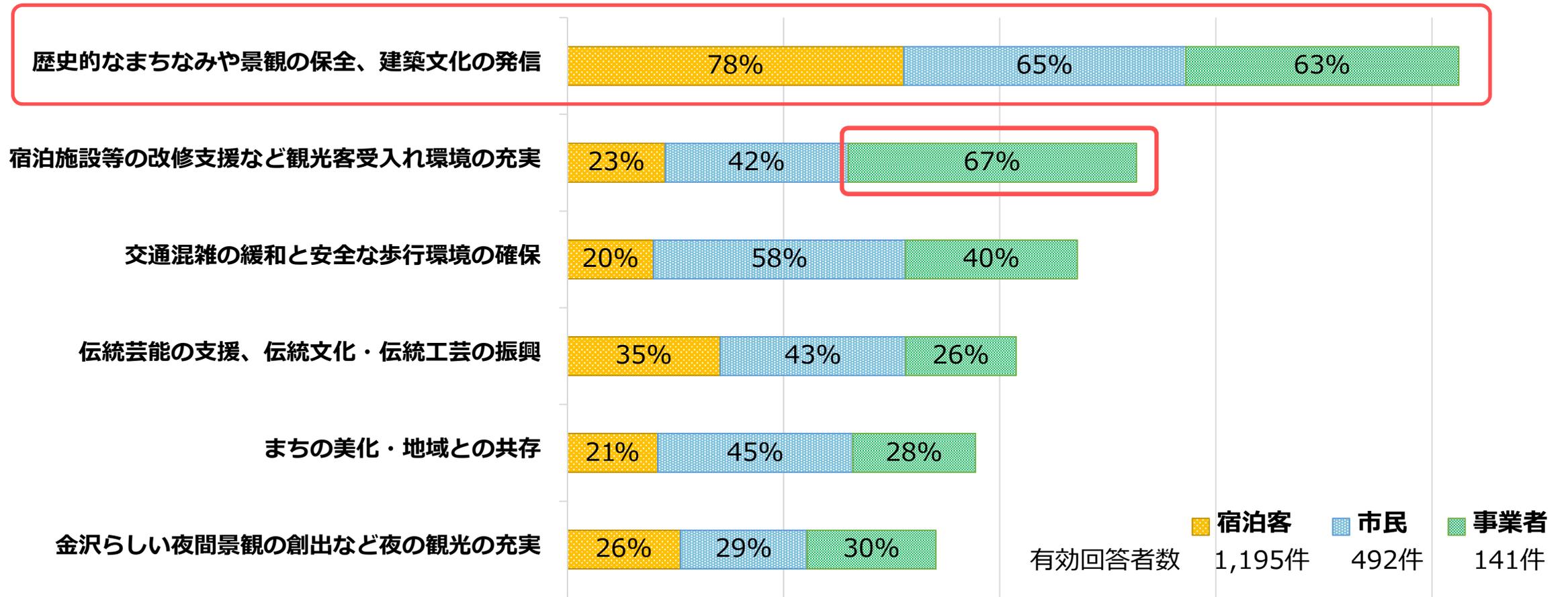
有効回答者数：891人（「訪問してから知った」又は「知らない」と回答した方）



- ・ 3%の26人は「訪問先として選ばなかったかもしれない」と回答
- ・ 宿泊に影響はほとんどない

▶ 宿泊税の活用について

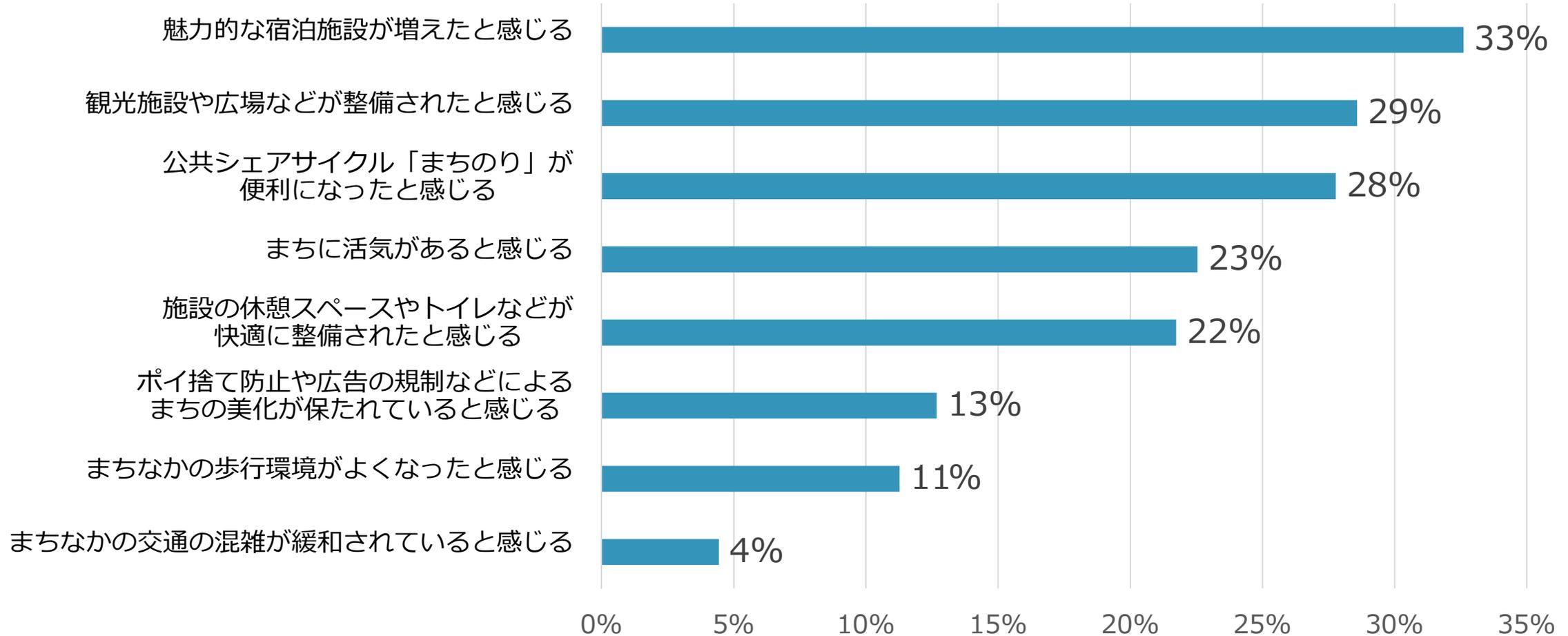
(複数回答・上位5項目)



「歴史的なまちなみや景観の保全、建築文化の発信」に活用するのが望ましいとする回答が宿泊者、市民で最も高く、宿泊事業者においても「宿泊施設等の改修支援など観光客受入れ環境の充実」の回答（67%）に次いで63%と高くなっている。

▶市民の普段の生活においてあてはまるもの（市民アンケートより 複数回答）

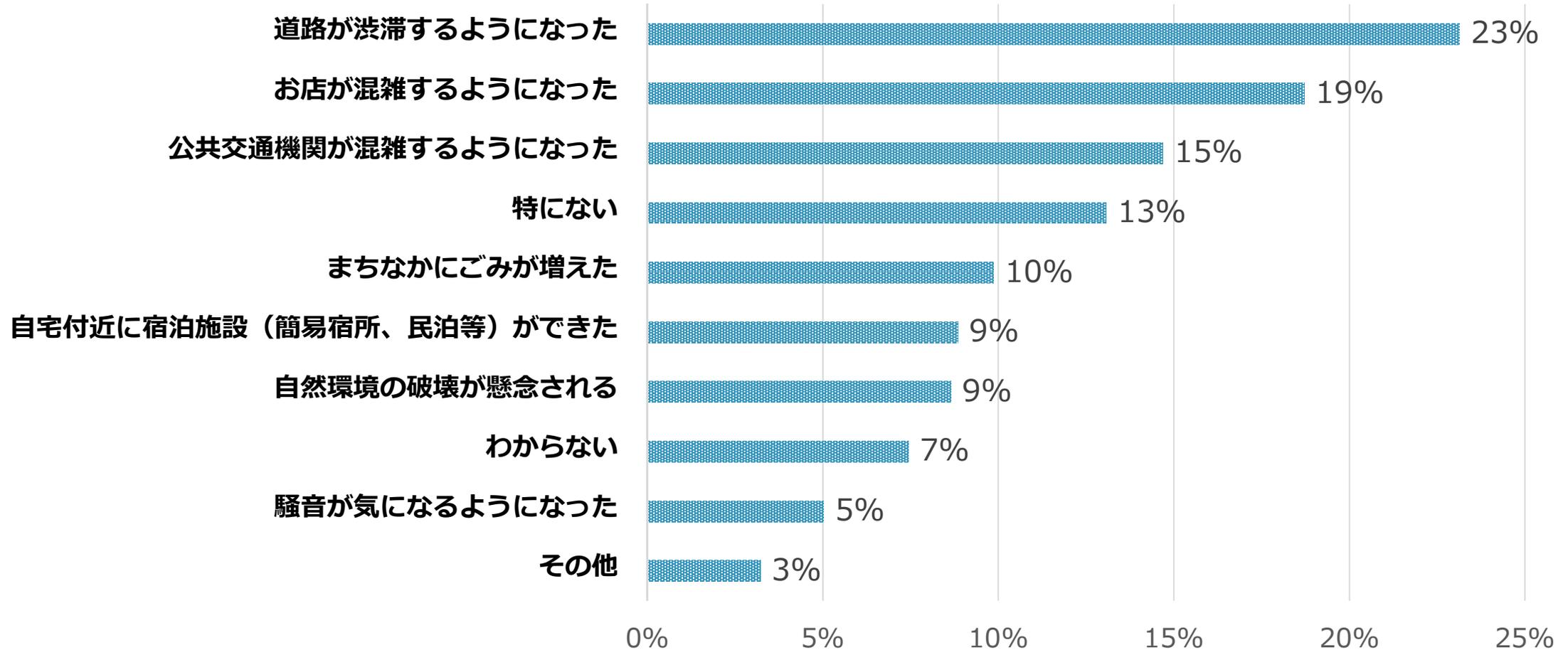
【良い影響】有効回答者数：497件



良い影響として、約3割が「魅力的な宿泊施設が増えた」「観光施設などが整備された」「まちなりが便利になった」を挙げている。

▶市民の普段の生活においてあてはまるもの（市民アンケートより 複数回答）

【悪い影響 など】有効回答者数：497件



- ・悪い影響として、約2割が道路の渋滞やお店の混雑を挙げている。
- ・「特にない」「わからない」とのがあわせて2割ある。

ヒアリング調査結果

▶ 観光関係団体（金沢市観光協会、金沢ホテル懇話会、金沢市旅館ホテル協同組合、湯涌温泉観光協会）

宿泊客の宿泊税に対する理解の状況	<ul style="list-style-type: none">・ お客様に理解いただけており、他の施設からもトラブルがあったという報告は受けていない。・ 導入当初から宿泊税に関するクレームはない。制度がスムーズに運用されていると感じている。・ 3,000円程度の低価格の施設から200円は高いとの意見を1件受けたことがある。
宿泊税に関する広報や周知について	<ul style="list-style-type: none">・ 予約サイト等で事前に案内している。知らない場合でも支払いの際の説明で足りるため、広報については現状のままで問題ない。・ 現状のままで大きな問題はないが、修学旅行生の補助金制度についての周知がもう少し必要である。

▶ 観光関係団体 (金沢市観光協会、金沢ホテル懇話会、金沢市旅館ホテル協同組合、湯涌温泉観光協会)

徴収事務について	<ul style="list-style-type: none">・ 問い合わせはほとんどなく、対応に苦慮することは特にない。・ 宿泊料金で税額を判断することについて迷うことがない。・ 毎月の申告・納入は難しいことではなく特に負担ではない。・ 納入について、銀行での納入が不便だという声が多い。・ 特別徴収事務交付金は、宿泊事業者の負担を思えば今後も継続してほしい。
宿泊税の使いみちについて	<ul style="list-style-type: none">・ 外への発信力を強化し、集客の安定に繋げてほしい。・ 宿泊施設の改修に係る補助制度は、今後も続けてほしい。・ 宿泊税の使いみちについて、市民目線のわかりやすい見せ方で積極的に発信してほしい。

▶ **有識者**（「北陸新幹線開業による影響検証会議（H29.5.24設置）」の学識経験者及び経済関係者）

<p>宿泊税に対する 認知度・理解の状況 について</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊客は細かい記載は見ずに支払っていると推察される。認知されないまま支払っているという状況も多いのかもしれない。・ 宿泊客の認知度については、時間の経過により上がっていくものと思われる。宿泊客が増えれば当然上がるものであり、他の導入地域への宿泊によっても知ることとなる。
<p>宿泊税に関する 広報周知について</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊税の使いみちや成果をわかりやすく、情報公開することが望ましく、認知度向上につながるのではないか。
<p>宿泊税の使いみち について</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 金沢の特長を活かした歴史伝統文化の振興に対し重点的に使うのが良い。・ 細かな事業に数多く使うより、大きくわかりやすい使い方が望ましい。・ 観光客の移動手段確保やイベント等の情報提供等、観光客の受入れ環境の充実が必要。